

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

2月号

令和6年1月31日

高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子

大谷選手の思いを繋げる

副校長 鎌田 忠裕

令和6年も1か月が過ぎ、明日から2月になります。2月は1年の中でも短い月であり、あっという間に逃げてしまう月であるともいわれています。朝晩はまだまだ厳しい寒さが続いています。2月4日は「春が立つ」と書いて春の季節の始まりとされる「立春」です。昔の暦では、この頃が1年の始まりの季節であるとされていました。江戸時代以降、毎年2月4日の立春の前日を「節分」といわれるようになったそうです。

最近では、幸運を招く方角を向き、黙って太巻きを食べる風習もあります。(2024年は「東北東」) こうした風習は、地域によって違いがあるようです。節分は、春を迎えるために、昔からの大切な行事とされてきました。節分や豆まきの意味を知り、自分の中の「追い出したい鬼」を追い出し、新鮮な気持ちで春を迎えたいものです。

さて、1月25日(木)、つづきの丘小学校に荷物が届きました。その荷物は、メジャーリーガーとして活躍する大谷翔平選手が、日本国内の小学校にプレゼントしたグローブ(右利き用2つ、左利き用1つ)です。1月29日(月)に「グローブお披露目会」で箱を開封し、感動の瞬間を全校で共有しました。大谷選手は、これらのグローブを記念品として飾るのではなく、子どもたちに使ってほしいと願っているはず。今後学校では、大谷選手の思いや小学生に伝えたいことを、つづきの丘小学校の子どもたちが受け止められるよう、各学級でグローブを手にする機会を設けていきます。子どもたちが実際にグローブを手にした時、どんな笑顔を見せてくれるのか楽しみです。

以下、大谷選手からのメッセージです。(原文のまま)

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷 翔平



【第10回全国小学校ラジオ体操コンクール「エリア奨励賞」受賞】

第10回全国小学校ラジオ体操コンクール・技術部門において、つづきの丘小学校「ピヨ5」が、一生懸命にラジオ体操を行い、次回に向けての飛躍が楽しみなチームとして、「エリア奨励賞」を受賞しました。

